



12月定例会市議会 市長所信

12月議会が12月6日から24日までの19日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長から所信が表明されます。今議会で表明されました主な内容については、次のとおりです。

映画「モンゴル野球青春記」

映画「モンゴル野球青春記」が、先般、ロサンゼルスで開催された「第5回オールスポーツ映画祭」の長編映画部門でグランプリを受賞しました。

この映画祭は、アメリカで唯一、スポーツをテーマとした映画の祭典で、ロサンゼルス・ノースハリウッドの劇場で行われ、「モンゴル野球青春記」を含む24作品が8部門の賞にノミネートされました。

映画の制作会社によりまずと、野球の面白さ、スポーツ交流の素晴らしさを同時に表現している点が、高い評価を受けたとのことでした。

クライマックスシーンの撮影には、エキストラとして2千人以上の市民が参加するなど、本市が物心両面で支援した映画が、野球発祥の国・アメリカで認められたことは大変意義深いものと存じているところです。

また、東京都の推奨映画にも指定されており、今回、海外で評価されたことを受け、制作サイドは、「2020年の東京オリンピックにおいて、野球

が正式競技となるための「架け橋」のような作品になれば」と期待を寄せています。

本市といたしましても、受賞を機に、多くの方々に映画を観ていただき、「野球のまち阿南」が広くPRされることを、さらなる相乗効果が生まれることを願うものです。

プラスチック製 容器包装類の回収回数

現在、各家庭の収集は、受入れ施設であります「リサイクルセンター」の処理能力の関係から、毎月1回としていますが、「エコパーク阿南」の本格稼働により、円滑で効率的な処理が実施できますことから、収集計画を見直し、平成26年2月からの試行を経て、4月から毎月2回の収集を実施することとしました。詳細については、「広報あなん」の折込みチラシ等でお知らせするとともに、市民の皆さまには、循環型社会の形成に向け、さらなる「ごみの資源化、減量化」にご協力いただきますようお願い申し上げます。

地域医療の強化充実

本市には、地域の中核的病院として、阿南医師会中央病院と阿南共栄病院があり、救急医療をはじめ地域医療の確保、市民の健康保持のために多大な貢献をいただいています。

しかしながら、今後慢性的な医師不足、医師の高齢化により、救急医療体制の維持が困難になるなど、両病院を取り巻く状況は厳しくなるものと考えられます。

このようなことから、阿南市医師会、徳島県厚生農業協同組合連合会および本市で構成する「阿南市の地域医療を考える会」において、地域医療のあり方、阿南医師会中央病院と阿南共栄病院の機能分担や医療連携の方策等について検討を重ねてきました。

こうしたなか、阿南共栄病院の耐震化への建て替え時期もありますので、本市から、阿南市医師会と徳島県厚生農業協同組合連合会に対し、両病院の業務提携、機能分担および統合等、想定される連携パターンをお示しし、検討をお願いしました。その結果、両医

療機関は、一つの医療機関として統合することが、医療提供体制の向上面や医師の確保面においても最良の方策であるとの結論に至り、平成25年11月22日に、立会人である本市を含めた3者で「設立に向けての覚書」を交わしたところ。今後、覚書に基づき、仮称ですが、新たな医療施設「阿南中央医療センター」の設立に向けて詳細な協議を行うことになりました。

新たな医療施設は、本市における中核医療センターとして救急医療の中心的役割を果たすとともに、24時間体制による地域医療機関との連携の確立、さらには、災害拠点病院として災害時における医療の確保など、その役割に大いに期待するところです。

本市としても、将来にわたり市民が健康で幸せに暮らせるため、安全・安心で質の高い医療体制の確保は、市政の最重要課題と認識しており、今後、両病院の統合による新医療施設の設立に向けて、可能な支援をまいりまして、議員各位のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

イメージアップキャラクター

平成25年8月1日から26日間、市民を対象にネーミングを募集したところ、幅広い年齢層から360点の応募をいただき、選考委員会において審査した結果、「あなん」に決定しました。

その後、キャラクターデザインのイメージにできるだけ近づけようと、製作段階で何度も修正を加えた「着ぐるみ」も完成し、10月12日に開催された「日本女性会議」の全体会において、全国からの参加者にお披露目しました。「あなん」が舞台上で登場すると、その愛くるしい姿に会場からは「かわいい」という歓声と笑顔があふれ、瞬く間に人気者となり、カメラを手にした大勢の参加者から記念撮影を求められるなど、華々しいデビューを飾ることができました。

また、市内で開催されるイベント等への出演依頼やデザインの使用依頼も多数寄せられるなど、反響も大きく、今後、元氣な阿南市の象徴として、市民はもとより、全国の人々にも愛され親しまれる存在になることを期待するとともに、バッジやシールなどの関連グッズを作成し、積極的に本市のPRを展開してまいりたいと考えています。なお、「着ぐるみ」については、これまで「日本女性会議」をはじめ、「子どもフェスティバル」や「食博覧会」「東京・阿南ふるさと光流会」など、市が関係するイベントに限定して

東京事務所

東京事務所は、開設して約1年7カ月が経過しました。

手探りでスタートした事務所活動も、ここに来てサイクルが定着しつつあり、培った人脈を糧に、国への要望活動や情報収集、観光プロモーション、ふるさと会の運営、阿南市ゆかりの地縁を生かしたビジネスマッチングなどに取組んでいるところです。そして、これらの活動を象徴するイベントである「東京・阿南ふるさと光流会」を11月27日に開催しました。

阿南光のまちづくり協議会が、これまで9年間連続して「LEDオブジェ」を設置している東京ドームシティ内のホテルを会場に、特産品の販売展示、また、「ウインターイルミネーション2013」の見どころや、新しいイメージアップキャラクター「あなん」の紹介、あなん丼の試食、野球のまちコーナーの設置などによりまして、ふるさと会会員やスペシャリストなど、約180人の参加者に本市の魅力を存分に体感していただきま

した。

翌日には、隣接する「ラクーア広場」特設会場で物産展を開催し、特産品の販売や展示とともに、アンケート調査等も行い、本市のPRと知名度の把握に努めたところです。ここでも「あなん」の人氣は絶大で、大勢の人だかりができるなど、抜群の効果をもたらせてくれました。

今後とも、こうしたイベントや日々の活動を通じて、阿南市と首都圏とのつながりの輪を広げ、本市の産業や経済、文化など、さまざまな分野において相乗効果が得られるよう取り組んでまいりたいと考えています。

橋の長寿命化

高度経済成長長期に集中整備された橋の老朽化が急速に進行するなか、「安全・安心なまちづくり」実現のため、また、将来にわたる維持管理や更新費用のコスト削減に向け、従来の「事後保全的な維持管理」から「計画的かつ予防保全的な維持管理」に転換し、橋の長寿命化を図ることが急務と考えています。

こうしたことから本市では、橋長15メートル以上の重要な橋について「長寿命化修繕計画」を策定し、年次計画的に修繕工事に取り組んでおり、道路ネットワークとしての重要性、緊急性を踏まえ、さらには、並行して進めています「耐震化計画」との整合性を図

りながら、まずは10橋について、昨年度から社会資本整備総合交付金事業を活用しながら事業を推進しているところです。

これまでに、新野町の「岩戸橋」と「谷口中央橋」、椿町の「寺前橋」の調査設計が完了しており、今年度には「岩戸橋」ほか1橋で橋桁の補修や伸縮装置の取替、高欄補修などの修繕工事に着手します。いずれの橋も、それぞれ地域の生活を支えるとともに、災害時には避難路や緊急物資輸送路となる重要な市道に架かるものであることから、早期に長寿命化対策が図れるよう、積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。また、後日作成されます市議会会議録は市立図書館等で閲覧することができます。

